

# 施設営繕担当部 施設営繕第二課 設備

小山 弘和

(機械職 H25年度入庁)

## 設備の仕事について

庁舎や学校等、公共施設の新築・増改築・大規模改修について、設計・積算や、工事の進行管理等を行っています。

一つの建物に対し建築・電気・機械の担当者がおり、私は機械の担当者として“給排水衛生設備”“空気調和設備”を担当しています。それぞれの担当者間のチームワークが大切な職場です。

設計では、建物の平面プランを決定する段階から携わり、設備の“システム”を決定し、ポンプやファンの選定、最後には配管の材質・口径や、エアコンのリモコンの位置等々...細かい部分まで決めていきます。

限られた工期・予算の中で、より良い施設を建設できるように心掛けています。



天井の中には空気調和機器やダクト・配管が入っています。



工事の積算も大切な仕事です。  
図面から、工事で使う材料の量を計ります。

## 仕事とやりがい

建築設備は近年、高度化・複雑化が進み、安全性や信頼性、快適性に加え、省エネ、維持管理の容易さや、災害時の事業継続等々...ニーズは目まぐるしいほど拡大しており、技術職の職員の“役割”と“責任”はますます大きくなっています。

公共施設は、誰もが使える地域のための施設であるため、上記ニーズを満たし、かつ無駄の無いものが求められます。また、大災害時には避難所として使われる施設もあれば、物資や情報、救助等の拠点となる施設もあります。

配管やポンプ、空気調和機器等は、その多くが普段目に付かない部分にあります。しかし、それら設備が機能しないと非常に使いづらい建物となってしまいます。建物が出来上がった後、区民の皆様が快適に使って頂くことが出来たときは、そのために設備について色々考えて、調整してきた良かったなと思います。

